

人権コラム 心、豊かに

◆身近にある人権を考えよう

「人権問題」と聞くとどのようなことを思い浮かべるでしょうか。女性の人権、子どもの人権、高齢者の人権、障害を理由とする偏見や差別、同和問題（部落差別）、アイヌの人々に対する偏見や差別、外国人の人権、H I V感染者やハンセン病患者等に対する偏見や差別、刑を終えて出所した人に対する偏見や差別、犯罪被害者とその家族の人権、インターネットを悪用した人権侵害、北朝鮮当局による人権侵害、ホームレスに対する偏見や差別、性的指向を理由とする偏見や差別、性自認を理由とする偏見や差別、人身取引。法務省では、この16項目の人権問題を国内における主な人権課題としており、さらに「東日本大震災に起因する偏見や差別」を加え、啓発活動強調事項の17項目としています。また、これ以外にも様々なハラスメント等の問題が近年増加しています。

このように例を挙げていくと「難しい」とか「自分にはあまり関係ない」と考えてしまう人がいるかもしれません。しかし、「人権問題」は、実はとても身近なものなのです。普段の生活の中で、嫌だと感じたり悲しみや怒りを覚えたりする出来事の延長線上に「人権問題」があるのです。

例えば、世界中で多くの人が利用するインターネット、特に個人が世界中に情報を発信できるSNSなどは、使い方を誤ると多くの人々が傷ついたり、偏見や差別にさらされたりすることがあります。また、最近ニュース等でよく耳にする「子供や高齢者に対する虐待」などは、犯罪として許されないだけでなく、被害者の心に大きなトラウマを残してしまうこともあることから、人権侵害にもつながります。

このように、普段の生活の中には多くの人権に関係する事があり、いつ自分が被害者や加害者になるか分かりません。自分には関係ないと思わず、日頃から人権について考え、理解を深めておくことで、いざ当事者となった場合に正しい行動をとることができるよう備えておくことが必要です。